

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	大野町立大野小学校		
実 施 期 間	平成26年11月17日(月)		
実 施 概 要	① 学校・家庭・地域であいさつ運動 ② 大野町の柿作り・バラ作りを知る。(地域の名人から学ぶ)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	人	計 3 人
	地域関係者	3 (栽培者)	
実 施 状 況	① 児童会が中心となり、学校の伝統である「先がけあいさつ」を展開し、校内、家庭、地域で進んで挨拶できるようにする。 ・登下校で、交通安全ボランティアや交通指導に立つ保護者、地域の方に進んで挨拶する。 ・校内の放送で、登下校のあいさつの様子や交通安全ボランティアの声を伝える。 ② 大野町の特産物である柿作り・バラ作りについて学ぶことを通して、ふるさとのよさを知る。 ・柿やバラ農園を見学し、手間をかけて育てている栽培者の努力を知る。 ・年に摘花作業と収穫体験の体験活動をする。		
成果及び課題	・校内でのあいさつの輪が広がり、明るい声であいさつができるようになる。 ・登校指導の保護者や交通安全ボランティアの方から、「進んであいさつできる子が増えてきている。」「子どもたちの明るい挨拶の声がかえってくるとうれしい。」といった評価をいただいている。 ・大野町の特産物バラと柿の農園を見学し、栽培者の話を聞いたり、体験活動をしたりすることを通して、大野町のよさやいっしょけんめい働く人のすばらしさに感動する子どもが育ってきている。		